



国民春闘共闘

第17号

2015年4月14日

国民春闘共闘委員会

〒113-8462 東京都文京区湯島2-4-4 全労連会館
☎ 03-5842-5621 FAX 03-5842-5622

2015春闘・第4回賃上げ集計

加重平均 6,080円 2.05%

国民春闘共闘委員会（全労連、純中立労組懇、地方共闘などで構成）は9日、2015年春闘における第4回目の賃金改定集計を行い、20単産・部会から報告が寄せられました。

<回答状況>

	2015年	2014年
登録組合数	838	859
回答組合数	360 (43.0%)	361 (42.0%)
うち金額・率回答	270	279
うち「定昇のみ」など言葉による回答	90	82
うち上積み獲得	66 (18.3%)	73 (20.2%)
うち妥結組合数	98 (27.2%)	89 (24.7%)

<回答内容>

集計方法&対象		2015年	2014年	(前年比)
単純平均	額(円)	5,746	5,843	-97
	率(%)	2.05	1.97	+0.08
加重平均	額(円)	6,080	6,240	-160
	率(%)	2.05	2.04	+0.01
	組合員数(人)	78,075	78,086	

<前年実績との比較が可能な組合における回答状況(金額での比較)>

前年比較可能な組合数	うち前年実績以上	(前年超)	(同 額)
246	138 (56.1%)	113	25

<前年実績との比較が可能な組合における金額・率の比較>

		組合数	金額・率	前年実績	(前年比)
単純平均	額(円)	246	5,811	5,816	-5
	率(%)	151	2.14	2.15	-0.01

※額または率のみの報告があるため、双方は連動しません。

※「定昇のみ」など言葉による回答は計算から除いています。

＜集計結果の概要＞

回答引出し・妥結状況

第4回集計には、あらたに建交労・建設から報告が寄せられ、20単産・部会での集計となりました。

これまでに回答を引き出したのは、登録838組合のうち360組合・43%となりました。回答引上げゾーンなども設定しながら各組織で引出し数を伸ばし、前回集計（3月27日時点：284組合・33.9%）から76組合・9.1%上昇しています。前年同期（2014年4月10日現在：361組合・42%）と比べ1%上回っています。

回答を引き出した組合のうち妥結したのは98組合（「定昇のみ」などの言葉による回答組合も含む）で、妥結率は27.2%となっています。先行組合を中心に3月決着がはかられ、前回調査（31組合・10.9%）から大きく増えています。

しかしながら、依然として約7割の組合がたたかいを継続しており、上積みを求め粘り強く交渉をしていることが伺える状況となっています。前年同期（89組合・24.7%）比では、2.5%増となっています。

全体の回答内容

有額回答を引き出した19単産・部会での単純平均（一組合あたりの平均）は5,746円・2.05%で、加重平均（組合員一人あたりの平均）は6,080円・2.05%となっています。

前回調査と比較すると単純平均85円増・+0.06%、加重平均495円増・+0.23%となっています。日本医労連の厚生連関係など、規模の大きな組合で比較的高水準の回答を引き出したことで加重平均が伸び、6,000円台となりました。

前年同期比では、単純平均97円減・+0.08%、加重平均160円減・+0.01%とほぼ同水準にとどまっています。

数次にわたる上積み回答を引き出した組合は、前回調査から27組合増え、回答引き出し組合の18.3%にあたる66組合となりました。地方マスコミの1組合が6次回答を引き出したのをはじめ、5次回答がJMIUの2組合、4次回答がJMIU（3）、日本医労連（1）の4組合、3次回答がJMIU（9）、地方マスコミ（5）、化学一般労連（2）、地方登録組合（1）の17組合と続いています。JMIUの組合では、初回回答7,000円から「あきらめず、粘り強く」交渉を重ね、前年実績超の11,200円・4.97%の5次回答を引き出し、尚、たたかいを継続しています。

また、出版労連での16,730円を筆頭に、月額1万円以上の賃金引上げを獲得したのは、出版労連、民放労連、JMIU、建設関連労連、全農協労連、地方登録での22組合（前年同期23組合）となっています。前回調査（15組合）から7組合増えています。

単産・部会別の集計をみると、単純平均額で前年同期と比較可能な18単産・部会のうち、プラスが、全農協労連、建設関連労連、JMIU、化学一般労連、建交労・運輸、建交労・鉄道、全倉運、民放労連、地方登録組合の9単産・部会、マイナスが9単産・部会となっています。

規模別でみると、「1000人以上」が単純平均5,962円・2.15%、加重平均6,505円・2.27%と前回調査（単純平均・5,236円・1.94%、加重平均5,776円・1.96%）から上昇し、全体を牽引しています。

前年実績比較可能組合での回答状況

同一組合での前年実績対比が可能な 246 組合での単純平均額は 5,811 円で、前年実績を 5 円下回っています。率では 151 組合の単純平均で 2.14%と -0.01 ㊦ととなっています。

集計を重ねるごとにマイナス幅は縮小（第 2 回集計：186 円減・-0.11 ㊦、第 3 回集計：128 円減・-0.07 ㊦）しており、ほぼ前年実績並みの水準となりました。

金額で比較可能な 246 組合のうち 56.1%にあたる 138 組合が前年実績額以上の回答を引き出しています。福島生協労組では、ストライキも背景にしながら、人手不足の深刻な実態や、それに伴う長時間・過密労働の実態を訴えながら、前年実績 8,000 円超の回答を引き出しています。

非正規雇用で働く仲間の賃上げ状況

パートやアルバイトなど非正規雇用で働く仲間の賃上げは、別表の 9 単産から 131 組合 237 件の成果獲得の報告が寄せられています。

獲得件数は、前回調査（3 月 27 日時点：102 組合・187 件）から 50 組合増え、前年同期（2014 年 4 月 10 日時点：108 組合・180 件）を 57 件上回っています。

パートやアルバイトなど（継続雇用・再雇用で働く仲間を除く）時間給で働く仲間の賃金引上げでは 159 件の成果を獲得しています。引上額回答の報告があった 115 組合の単純平均は 28.2 円で、前回調査（25.6 円）から 2.6 円増え、前年実績（26.6 円）を 1.6 円上回っています。生協労連、日本医労連からは「時間額 300 円の引き上げ」の報告も寄せられています。

また、日給制では 3 件、出版労連の組合で「嘱託社員に月額 5,000 円の引上げ」の回答を引き出すなど月給制では 52 件の賃金引上げを勝ち取っています。

再雇用・継続雇用で働く仲間の賃金引上げは、JMIU、生協労連、日本医労連、全印総連、出版労連で計 20 件の成果獲得となっています。

企業内最低賃金改訂状況

企業内最低賃金協約の締結・改定状況は、あらたに化学一般労連、出版労連から報告が寄せられ別表の 8 単産での集計となりました。日本医労連で獲得組合数が増えるなど前回調査（57 組合）から 35 組合増え、92 組合での成果獲得となりました。

時間額で改定後の金額表示のあった 68 組合での平均は 895 円、日額では 24 組合平均 7,419 円、月額では 46 組合平均 168,294 円となっています。

職種別最低賃金では、生協労連・ヘルパーで時間額 1,120 円、日本医労連・看護師で時間額平均 1,314 円、日額平均 9,320 円、月額 205,112 円、ヘルパーで時間額 903 円、日額 6,577 円、月額 146,500 円となっています。

最低賃金要求「時間額 1,000 円以上、日額 8,000 円以上、月額 170,000 円以上」に平均額では僅かに及ばないものの、最低賃金要求以上の成果を引き出している組合も多数あります。また、獲得組合数も増加しており、取り組みの広がりが伺える状況となっています。

賃金引上げとともに、企業内最低賃金闘争の取り組みを強化し、法廷最低賃金闘争引き上げにも弾みをつけていきましょう。

まもろう憲法と暮らし ストップ暴走政治 実現しよう！大幅賃上げと雇用の安定

<参考> 他団体の賃上げ集計結果

●連合の第3回回答集計（平均賃上げ方式・4月2日公表）は以下のとおりです。

集計対象	集計組合		加重平均			
	組合数	人数(万)	金額	率	昨年	率
全組合	2,003	195.4	6,944	2.33	6,495	2.20
中小共闘	1,216	12.7	5,185	2.08	4,810	1.97

※中小共闘は、規模300人未満

※単純集計（一組合あたりでの平均）での公表なし

●連合・第3回回答集計（非正規雇用労働者の賃金引上げ・4月2日公表）は以下のとおりです。

集計対象	時間額					
	単純平均			加重平均		
	組合数	賃上額	平均時給	人数(万)	賃上額	平均時給
全組合	155	17.24	968.44	43.4	18.17	927.65

集計対象	月額					
	単純平均			加重平均		
	組合数	賃上額	率(参考)	人数(万)	賃上額	率(参考)
全組合	110	3,756	1.85	3.4	4,237	2.11